

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 中央物産株式会社

コード番号 9852 URL <http://www.chuo-bussan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児島 誠一郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 原 幸男

TEL 03-3796-5075

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	100,415	△1.0	1,123	26.6	1,422	11.6	692	46.2
23年3月期第3四半期	101,419	△2.8	887	100.9	1,274	20.6	473	△31.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 734百万円 (75.8%) 23年3月期第3四半期 417百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	62.96	—
23年3月期第3四半期	43.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	47,229	14,378	30.4
23年3月期	42,840	13,732	32.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 14,378百万円 23年3月期 13,732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,700	△3.8	1,190	10.3	1,560	1.0	920	36.6	83.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	12,309,244 株	23年3月期	12,309,244 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,317,506 株	23年3月期	1,317,756 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	10,991,720 株	23年3月期3Q	10,992,498 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力供給問題による厳しい状態からいくらか回復の兆しが見え始めましたが、欧州諸国の財政問題や急激な円高などにより、依然として不透明な状態となっております。

当業界におきましても、そのような状況の下、引き続き消費者の購買単価下落が進むなど、厳しい競争環境が継続しています。

このような事業環境の中で当社グループは、中期3ヵ年経営計画のもと、「ユニークな価値創出型企業グループ」を目指して、以下の5つの経営方針の実現を推進してまいりました。

①キャッシュ・フロー経営の徹底

「キャッシュ・フロー経営」を徹底することにより財務体質の強化を図り、企業価値を高めるとともに株主価値を最大化させてまいりました。

②生産性の向上やコスト改善による収益構造の改革

生産性の向上やコスト改善を推進する専属プロジェクトにより、全ての業務プロセスを見直し、収益性の高い企業体質への改善を進めてまいりました。

③専売品を軸としたマーチャンダイジング機能の強化

高粗利商品である専売品を更に開発・育成し、これを軸としたマーチャンダイジング機能を強化してまいりました。

④人材育成の強化と人事制度の抜本的改革

新企業理念の発表から1年が経過した事を受け、10月から当社の人材育成プログラムである『CBCアカデミー』をベースにした『プロアクティブミーティング』を拠点ごとに実施し、経営陣と社員とが「新理念」についてのディスカッションを通して、「新理念」の浸透と人材育成強化を図ってまいりました。また、「人事制度の抜本的改革」を目的に、新人事制度を策定し、来期からの導入に向けて準備を開始いたしました。

⑤地域卸事業(地域卸様との共同による地域密着小売店様への商品供給の充実と効率化)の強化

効率的・効果的なサプライチェーンの全体最適の仕組みを研究し、地域卸売業者様との取り組み強化を推進してまいりました。

弊社は東日本大震災以降、中間流通業としての社会的使命の重要性から、一部の商品供給不足や節電などの対策に全力を挙げて取り組んでおります。一例として、節電においては昨年同期の約15%の削減ができました。また、当社の社会的責任を果たすために、被災された地域や人々への支援活動として物資の支援や被災地における雇用改善の一助にと、被災地から数名の社員を採用しております。

尚、弊社は、平成24年3月上旬に事業効率の向上と耐震性などの安全性の強化によるリスク軽減を目的として同港区内での本社の移転を予定しております。

以上の結果、子会社6社を含めた当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,004億1千5百万円（前年同期比1.0%減）となりました。専売品や付加価値の高い商品を軸にしたマーチャンダイジング機能の強化により、売上総利益は147億5千8百万円（前年同期比0.9%増）、売上総利益率は、前年同期比で0.3ポイント増の14.7%に向上いたしました。生産性の向上や節電などの活動により、販売費及び一般管理費は136億3千5百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

これにより、営業利益は11億2千3百万円（前年同期比26.6%増）、経常利益は14億2千2百万円（前年同期比11.6%増）、四半期純利益は6億9千2百万円（前年同期比46.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

- ①日用雑貨事業におきまして、売上高は989億6千1百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は9億6千6百万円（前年同期比30.0%増）となりました。
- ②物流受託事業におきまして、売上高は12億9千3百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は1億3千2百万円（前年同期比3.6%減）となりました。
- ③不動産賃貸事業におきまして、売上高は1億6千万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は7千6百万円（前年同期比26.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末比45億6千9百万円増の340億9千5百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が41億2千3百万円、現金及び預金が1億2千6百万円、商品及び製品が2億8千3百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比1億8千万円減の131億3千4百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が1億8千1百万円、のれんが3千4百万円減少し、投資有価証券が5千1百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度比43億8千9百万円増の472億2千9百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末比37億4千2百万円増の328億5千1百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が25億9千万円、短期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末比6億4千6百万円増の143億7千8百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物残高は、10億6千8百万円（前年同期比6億2千1百万円の減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における営業活動により使用した資金は、5億4千9百万円（前年同期比18億6百万円減）となりました。これは主に、仕入債務の増加25億9千万円、売上債権の増加41億2千3百万円によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は、1億9千5百万円（前年同期比8千7百万円増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得に9千4百万円及び無形固定資産の取得に8千6百万円、投資有価証券の取得に3千9百万円を支出したことと有形固定資産の売却による収入が5千4百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における財務活動により調達した資金は、8億7千1百万円（前年同期比23億8千5百万円減）となりました。これは主に、短期借入金の増加10億円と配当金の支払8千9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結業績につきましては予想通りに推移しておりますので、現時点におきましては、平成23年5月12日発表の平成24年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	941	1,068
受取手形及び売掛金	16,929	21,053
商品及び製品	8,087	8,370
仕掛品	77	90
原材料及び貯蔵品	86	101
その他	3,450	3,434
貸倒引当金	△47	△23
流動資産合計	29,525	34,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,069	3,888
土地	5,094	5,082
その他(純額)	330	273
有形固定資産合計	9,493	9,243
無形固定資産		
のれん	45	11
その他	265	287
無形固定資産合計	311	299
投資その他の資産		
投資有価証券	1,442	1,493
その他	2,123	2,157
貸倒引当金	△55	△59
投資その他の資産合計	3,510	3,591
固定資産合計	13,314	13,134
資産合計	42,840	47,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,507	15,098
短期借入金	11,550	12,550
未払法人税等	440	455
賞与引当金	395	171
役員賞与引当金	37	—
返品調整引当金	60	25
資産除去債務	—	26
その他	1,857	2,457
流動負債合計	26,849	30,784
固定負債		
退職給付引当金	186	201
役員退職慰労引当金	429	446
資産除去債務	445	420
その他	1,197	998
固定負債合計	2,259	2,066
負債合計	29,108	32,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,608	1,608
資本剰余金	1,321	1,321
利益剰余金	11,079	11,683
自己株式	△333	△333
株主資本合計	13,675	14,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	99
その他の包括利益累計額合計	56	99
純資産合計	13,732	14,378
負債純資産合計	42,840	47,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	101,419	100,415
売上原価	86,791	85,656
売上総利益	14,628	14,758
販売費及び一般管理費	13,740	13,635
営業利益	887	1,123
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	30	31
仕入割引	376	336
その他	128	125
営業外収益合計	550	508
営業外費用		
支払利息	80	73
売上割引	73	80
デリバティブ評価損	—	45
その他	8	9
営業外費用合計	163	208
経常利益	1,274	1,422
特別利益		
固定資産売却益	0	24
投資有価証券売却益	23	—
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	25	24
特別損失		
固定資産売却損	—	0
投資有価証券売却損	—	0
固定資産除却損	3	65
投資有価証券評価損	21	37
ゴルフ会員権評価損	3	2
事業再編損	2	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	161	—
災害による損失	—	13
その他	8	11
特別損失合計	200	130
税金等調整前四半期純利益	1,099	1,316
法人税等	626	624
少数株主損益調整前四半期純利益	473	692
少数株主利益	—	—
四半期純利益	473	692

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	473	692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	42
その他の包括利益合計	△55	42
四半期包括利益	417	734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417	734
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,099	1,316
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	161	—
減価償却費	329	311
のれん償却額	34	34
負ののれん償却額	△76	△76
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△23
有形固定資産除却損	2	64
無形固定資産除却損	0	0
ゴルフ会員権評価損	3	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△191	△261
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5	15
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11	16
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△27	△34
受取利息及び受取配当金	△44	△46
支払利息	80	73
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,850	△4,123
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	8	△3
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,461	△311
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,611	2,590
その他	417	636
小計	△1,924	161
利息及び配当金の受取額	45	48
利息の支払額	△81	△73
法人税等の支払額	△395	△685
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,356	△549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△67	△94
有形固定資産の売却による収入	1	54
無形固定資産の取得による支出	△46	△86
投資有価証券の取得による支出	△47	△39
投資有価証券の売却による収入	29	0
その他	23	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108	△195

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△500	—
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,894	1,000
長期借入金の返済による支出	△10	—
配当金の支払額	△87	△89
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	△39	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,257	871
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	792	126
現金及び現金同等物の期首残高	897	941
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,689	1,068

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。